



株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第89期の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

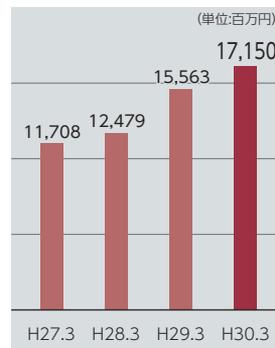
平成30年6月



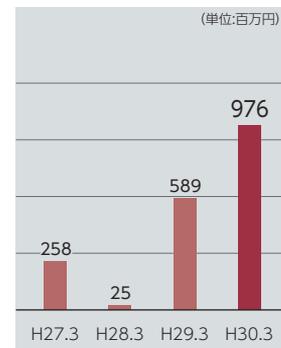
取締役社長 寶角 正明

財務ハイライト

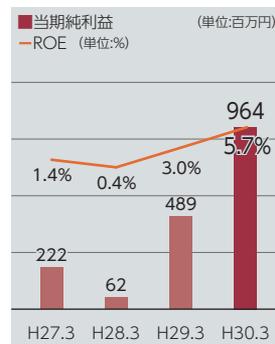
売上高



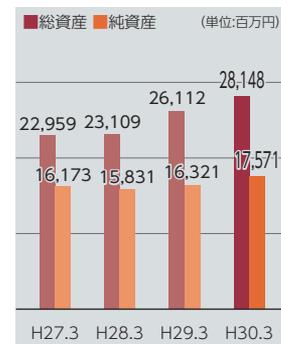
経常利益



当期純利益・ROE*



総資産・純資産



*ROE: Return On Equityの略。自己資本利益率ともいい、当期純利益を、自己資本で除したものの。

第89期 株 主 通 信

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

 高田機工株式會社

証券コード: 5923

当事業年度の事業概況

当事業年度におけるわが国経済は、緩やかな成長を続ける海外経済の影響により輸出は増加基調を辿り、企業収益や業況感が改善するなかで国内の設備投資も底堅く推移するなど、企業部門を中心に緩やかな拡大を続けました。個人消費も、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、振れを伴いながらも増加基調で推移いたしました。

橋梁事業の新設道路橋につきましては、高速道路会社からの発注量は減少いたしました。国土交通省からの発注量が増加したことで、当事業年度の発注量は前事業年度を上回りました。鉄構事業では鉄骨需要は高水準を維持しております。しかしながら大型再開発案件は「首都圏一極集中」が継続し、首都圏以外での大型再開発案件は低調に推移いたしました。

このような状況のもとで当社は、橋梁事業では新設道路橋の受注確保を最大の目標とし、応札案件を絞り込み、技術提案の内容強化と入札価格の精度向上を図ることで着実に受注を積み上げてまいりました。一方、鉄構事業におきましては、採算性重視の基本方針を保ちながら、首都圏での大型案件の受注を目指しましたが、目標案件の成約には至らず当事業年度の受注量は前事業年度を大きく下回る結果となりました。

これらの結果、当事業年度の受注高は総額では堅調に推移した前事業年度を更に上回ることができました。

損益面につきましては、前事業年度末の受注残高を背景に年間を通じて橋梁工場・鉄構工場共に高い採業度を保ち、現場施工も順調に推移したことで、橋梁事業の採算は前事業年度から更に改善し、鉄構事業もセグメント利益を確保することができました。

今後の見通し

橋梁事業では新設道路橋の発注量は当事業年度比微増と予想しております。また、当事業年度と同様に発注の早期化が見込まれます。発注先別では、国土交通省からの発注については、案件数は減少見込みも発注量としては当事業年度並みを維持し、東北地区や四国地区での大型案件の発注が期待されます。当事業年度減少した高速道路会社からの発注も、年度の前半に大型案件が予定されており、発注量は当事業年度を上回ると予想されます。また、保全・中大規模改築工事の発注は今後も増加することが予想されます。

鉄構事業では鉄骨需要は今後も堅調に推移すると見込まれます。しかしながら大型再開発案件の「首都圏一極

売上高	171億50百万円 前期比 10.2%増 橋梁事業 130億66百万円 前期比4.2%増 鉄構事業 40億84百万円 前期比35.2%増	
経常利益	9億76百万円 前期比 65.6%増	
当期純利益	9億64百万円 前期比 97.0%増	
受注高	202億36百万円 前期比 4.4%増 橋梁事業 182億15百万円 前期比42.2%増 鉄構事業 20億21百万円 前期比69.3%減	
受注残高	262億20百万円 前期比 13.3%増 橋梁事業 221億53百万円 前期比30.3%増 鉄構事業 40億66百万円 前期比33.7%減	

集中」は東京五輪以降も変わらず、一方で関西圏における大型再開発案件の発注にはまだまだ時間を要すると思われる。

関西に本社と生産拠点を構える当社には、今後も厳しい事業環境が継続しますが、当社はここ数年間着実に受注高を伸ばし、業績を回復させております。新年度は「総合力による受注と利益目標の達成」「安全確保と品質向上および環境保全への取組み」「生産性向上を目指した人材の育成」「発想の転換による独自技術の推進と保全事業への取組み」を年度方針に、『働き方改革』という社会のニーズを踏まえ、効率的な業務運営に向けて全社一丸となり取り組んでまいります。

橋梁事業

主な売上工事

中日本高速道路(株)・向畑高架橋、和歌山県・岡崎大橋、中部地方整備局・鳥羽川高架橋

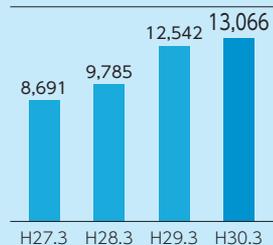


鳥羽川高架橋(中部地方整備局)
(岐阜県山県市 橋長198m、鋼重1,674t)

主な受注工事

中部地方整備局・春田北地区高架橋・飛島大橋左岸、関東地方整備局・行徳橋、川崎市・羽田空港連絡橋

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



鉄構事業

主な売上工事

川田工業(株)・渋谷駅街区東棟、大成建設(株)・豊洲二丁目駅前地区市街地再開発、(株)大林組・なんばスカイオ

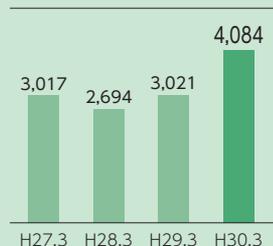


渋谷駅街区東棟新築工事
(東京都渋谷区 当社施工分4,559t)

主な受注工事

大成建設(株)・川崎駅西口開発新築工事、(株)大林組・神戸阪急ビル1期工事・2期工事

売上高(単位:百万円)



受注高・受注残高(単位:百万円)



株式の状況

(平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数 6,560,000株

発行済株式の総数 2,237,586株

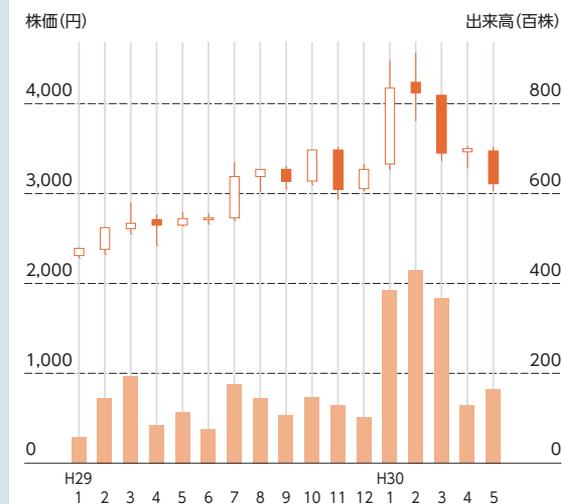
株主数 2,503名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本生命保険相互会社	133	6.06
神吉利郎	100	4.54
新日鐵住金株式会社	100	4.53
JFEスチール株式会社	91	4.15
株式会社奥村組	88	4.03
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	81	3.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	60	2.75
株式会社紀陽銀行	58	2.65
株式会社三井住友銀行	50	2.28
三井住友信託銀行株式会社	50	2.27

(注)1. 持株比率は、当事業年度の末日における発行済株式の総数より自己株式(34,342株)を控除して計算して表示しております。
2. 平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っており、ます。

株価/出来高の推移



(注)平成29年10月1日付の株式併合(10株を1株に併合)に伴い、株式併合前の株価・出来高を溯及修正しております。

会社概要

(平成30年3月31日現在)

社名	高田機工株式会社
創業	大正10年(1921年)6月1日
設立	昭和7年(1932年)3月1日
資本金	51億7,871万円
代表者	取締役社長 實角 正明
事業内容	▶道路橋、鉄道橋など鋼橋の設計・製作・架設 ▶ビル建築、学校体育館など鉄骨の設計・製作・架設 ▶鋼橋上部工の床版、舗装工事、標識、防護柵などの設置工事
本社	〒556-0011 大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階) 電話(06)6649-5100(代)
東京本社	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町3番2号(Daiwa小伝馬町ビル) 電話(03)3662-3581(代)
和歌山工場	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4700(代)
技術研究所	〒649-0111 和歌山県海南市下津町方1375番地の1 電話(073)492-4971
営業所	仙台・静岡・名古屋・和歌山・広島・福岡・沖縄

役員

(平成30年6月27日現在)

代表取締役社長	實角 正明
専務取締役執行役員	谷 俊寛
常務取締役執行役員	嶋崎 哲太
常務取締役執行役員	梶 義明
常務取締役執行役員	高橋 裕
取締役執行役員	小林 雄紀
取締役執行役員	蔭山 昌弘
社外取締役	川谷 充郎
執行役員	西田 明
執行役員	西尾 和彦
執行役員	中村 達郎
常勤監査役	坂田 友良
社外監査役	山中 俊廣
社外監査役	山本 和人

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-782-031
インターネットホームページURL	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告方法	電子公告 (http://www.takadakiko.com/) ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

単元未満株式の買取・買増について

単元未満(100株未満)の株式につきましては、買取または買増を請求いただくことができます。そのお手続きを希望される場合は、株主様の口座がある証券会社等にお申し出ください。
※特別口座に株式が記録されている場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

表紙写真

(仮称) 岡崎大橋
工事名称：和歌山橋本線(仮称岡崎大橋上部その3)道路改良工事
発注者：和歌山県
橋梁形式：鋼2径間連続鋼床版箱桁橋
橋梁諸元：橋長219m 鋼重1,664t

高田機工株式会社

大阪市浪速区難波中2丁目10番70号(パークスタワー6階)

UD
FONT